

東海旅客鉄道株式会社

代表取締役社長 山田佳臣 殿

要 望 書

平成23年11月16日



リニア中央新幹線建設促進
山梨県期成同盟会

リニア中央新幹線中間駅の具体的設置場所について

リニア中央新幹線については、本年5月、整備計画路線へ格上げされるなど、実現に向けて大きく前進し、新たなステップを迎えました。

リニア中央新幹線は、我が国の新たな国土の大動脈として、経済社会を支え、成熟型社会の形成やゆとりある生活の実現、災害に強い国土づくりに大きく貢献する社会基盤であり、本県にとっても、産業経済、県民生活など様々な分野において開業の効果が期待され、暮らしやすさ日本一の県土形成に大きく寄与するものです。

このため、リニア中央新幹線の早期着工に向けて関係者が一体となり、取り組みを推進していく必要があります。

営業主・建設主体である貴社におかれては、着工に向けた諸準備を進めるに当たり、引き続き本県との協力関係を維持しつつ、一層、強力な取り組みを推進されることと期待しています。

本県としても、開業によるプラス効果が県全体に広がるよう、駅周辺のまちづくりや県内各地からのアクセス道路の整備などリニアを活用した県土づくりについて取り組んでいくこととしています。

本県では県内4圏域から駅の設置要望が出されておりましたが、6月に貴社からおおよその駅位置が示され、8月までに「甲府盆地南部」に中間駅を設置することについて県内合意が得られました。

翌9月には、中間駅の具体的な設置場所について、地元地域であるリニア中央新幹線甲府圏域建設促進協議会から2つの候補地が示され県主導で選定するよう要請されました。

これを受け、県では、用地確保の容易さ、駅設置に必要な基盤整備コスト、県内主要拠点へのアクセス、交通結節機能及び県内で中間駅設置要望のあった3圏域からの意見を比較視点とし、県土づくりの観点からも総合的に検討を重ねてきました。

その結果、中間駅の設置場所としては下図に示す「甲府市大津町周辺」が適地であるとの県内合意が得られたところです。

については、山梨県の総意として、当該箇所へ中間駅を設置するよう要望します。

平成23年11月16日

リニア中央新幹線建設促進山梨県期成同盟会 会長

山梨県知事 横内正明

